

特集「新たな居場所～まちの文化・交流施設」

みんなの森 ぎふメディアコスモス

岐阜県岐阜市

▼公立文化施設運営、複合施設、図書館、中心市街地活性化、居場所づくり、市民協働

[主な実施団体]岐阜市

[施設]みんなの森 ぎふメディアコスモス

〒500-8076 岐阜県岐阜市市町40-5

2015年に岐阜市が開設した複合文化施設(伊東豊雄設計)。開館2年で600団体以上が視察に訪れ、年間120万人以上が来場する注目の施設。本を通じて人が交流し、市民の気持ちのいい居場所となる新しいタイプの“滞在型図書館”を目指す中央図書館を中核に、市民協働の拠点となる市民活動交流センター、多文化交流プラザ、ホール・ギャラリーなどで構成。中心市街地に賑わいを取り戻す拠点施設。

文京区青少年プラザ b-lab(ビーラボ)

東京都文京区

▼公立文化施設運営、居場所づくり、中学生・高校生、NPO、ボランティア

[主な実施団体]認定NPO法人カタリバ

[施設]文京区青少年プラザ b-lab(ビーラボ)

〒113-0034 東京都文京区湯島4-7-10

“教育立区”を掲げる文京区が「文京区教育センター」内に設置した中高生のための施設。多目的スペース、ホール、音楽スタジオ、キッチン、スポーツができる屋上広場など。「親と過ごす時間の中で多くを学ぶ小学生時代と異なり、中高生世代は親以外のさまざまな人間関係の中で、社会性を身に付けていかなければならない」(「文京区中高生育成基本方針」より)とし、中高生の出会いや自主的な活動を応援する拠点として整備。中高生スタッフによる企画など年間200本近いイベントを開催。

太田市美術館・図書館

群馬県太田市

▼公立文化施設運営、美術館、図書館、駅前再開発、中心市街地活性化、居場所づくり

[主な実施団体]太田市

[施設]太田市美術館・図書館

〒373-0026 群馬県太田市東本町16-30

東武鉄道太田駅周辺の市街地再開発を推進している太田市が、2017年に北口駅前開設した美術館と図書館の複合文化施設。“知と感性のプラットフォーム”をコンセプトに、美術館と図書館を有機的に連動し、新たな展覧会を企画するとともに、市民のサードプレイスとして居心地のいい空間を創出。駅前に賑わいをつくり出し、文化的な魅力を発信する拠点。

まちライブラリー

大阪府大阪市、北海道千歳市など

▼図書館、居場所づくり、コミュニティづくり、遊休施設活用、市民協働、ネットワーク

[主な実施団体]一般社団法人まちライブラリー

[施設]まちライブラリー@もりのみやキューズモール

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-1-70

まちライブラリー@千歳タウンプラザ

〒066-0063 北海道千歳市幸町4-30

「まちライブラリー」は、オフィスやカフェ、商業施設の一角、個人宅、お寺、駅舎、病院などさまざまな場所にみんなで本を持ち寄り、本を通じて人が交流するみんなでつくる図書館活動のこと。提唱者の磯井純充が、2011年に大阪市の雑居ビルの一室にISライブラリーを開設したのが始まり。現在、全国500カ所まで活動が行われ、本を通じた新たなコミュニティづくりを実践。

体験レッスン

城崎国際アートセンター

兵庫県豊岡市

▼公立文化施設運営、アーティスト・イン・レジデンス、遊休施設活用、観光

[主な実施団体]豊岡市

[施設]城崎国際アートセンター

〒669-6101 兵庫県豊岡市城崎町湯島1062

日本有数の温泉街「城崎温泉」に2014年に誕生したアーティスト・イン・レジデンス施設。兵庫県から豊岡市に移管された宿泊施設を伴う会議場「旧城崎大会議館」をリノベーション。ホール(500席のロールバックチェアを備え、最大1,000人収容)、各種スタジオ、レジデンスルーム(7部屋、定員最大22人)、ギャラリー、キッチンなど。24時間利用可能で、公募で選ばれたアーティストに最長3カ月まで無料貸し出し。豊岡市が推進する「小さな世界都市」の文化芸術による地域再生拠点。

SCOPE

奥能登国際芸術祭

石川県珠洲市

▼アートプロジェクト、遊休施設活用、地域再生、地域おこし協力隊、大学連携、市民協働

[主な実施団体]奥能登国際芸術祭実行委員会、珠洲市

能登半島の先端、珠洲市で新たにスタートした国際芸術祭。会期は2017年9月3日～10月22日。1950年には3万8,000人以上だった人口が現在では1万5,000人を割り込むまで減少。40組のアーティストが参加し、巨大な行灯型の山車「キリコ」が巡行する祭りなど豊かな歴史と塩田などの暮らしを支えてきた豊かな自然の伝わる奥能登の魅力を広く発信。

イラストSCOPE

祇園祭・函谷鉾

京都府京都市

▼祭り、保存会、大学連携

[主な実施団体]公益財団法人函谷鉾保存会、あすの函谷鉾をつくる会

[施設]函谷鉾ビル

〒600-8009 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町89

日本三大祭りの筆頭に挙げられ、ユネスコの無形文化遺産に登録されている祇園祭。その主役である鉾を継承してきた町民がゼロとなった「函谷鉾(かんこぼこ)」では、財団法人を設立して鉾の所有を移し、通い町衆による新たな仕組みで継承。